

【ファッションデザイン科 2年】

		カリキュラム	コマ数	担当
一般科目		コミュニケーション活動Ⅱ	30	菅
専門科目		ソーイングⅡ	30	戸村
		パターンメイキングⅡ	30	戸澤
		ドレーピングⅡ	15	戸澤
		アパレルCADⅠ	15	戸澤
		ファッションデザインⅡ	30	大谷
		アパレル素材論Ⅱ	15	櫻井
		デザインリサーチⅡ	15	時田・カルフォ
		ファッショントレンドⅡ	15	菅・相川
		デザインアプリケーションⅡ	15	佐藤
		マーケティング	15	片山
		セルフプロデュース	15	川松
		ブランドプロデュースⅠ	60	菅
		接客技術	45	中本
		スタイリング	15	中本
		アントレプレナー	15	菅
選択科目	テクニカル専攻	ソーイングⅢ	30	戸村
		パターンメイキング検定Ⅰ	15	
		ドレーピングⅢ	15	
	アパレルデザイン専攻	アパレル企画	30	菅
		パーソナルカラー検定	15	カルフォ
		ビジネスプランニング	15	
特別科目		キャリアプランⅡ	15	太田
		共通選択科目	30	担当講師
年間履修時間数			480	
年間授業日数			180	

シラバス（授業概要）				年度	
				2026年度	
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動Ⅱ			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	60	2	菅 麻紀
授業の目的・目標					
<p>クラスや学科でのグループ活動をとおして、社会性を身に着ける。ファッションに役立つ企画展・展示会などの鑑賞で視野を広げ、レクリエーションを通してコミュニケーションの大切さを学ぶ。</p>					
授業の概要					
<p>各種プログラムを通して、感性の向上とコミュニケーションの重要性を理解し、相手に考えや意思を伝え合うことを学ぶ。</p>					
成績評価の方法					
参加意欲や姿勢・レポートなど総合的に評価する。				平常点	50%
				レポート	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション			4		
2. "			4		
3. "			4		
4. "			4		
5. 学校行事・学科活動			4		
6. 芸術鑑賞			4		
7. "			4		
8. 健康診断			4		
9. レクリエーション			4		
10. "			4		
11. "			4		
12. "			4		
13. ファッション校外研修			4		
14. "			4		
15. "			4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ソーイングⅡ		講義・ <b>演習</b>		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	戸村 寿恵子
授業の目的・目標					
多くのテクニックを学び組み合わせる事で、オリジナル作品のクリエイションの幅をひろげ授業に繋げる。					
授業の概要					
手芸テクニックを学ぶ事で、独創的なデザインに活かせる技術を目指す。					
成績評価の方法					
作品の完成度、製作物の提出、授業態度				課題	80%
				平常点	10%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
プリント・手芸資材（生地・糸・ビーズ他等）					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	シラバス説明・糸と生地の関係	作品説明	2		
2	3種類のラテスマッキング		7		
3	ラテスマッキング仕上げ				
4	残りは宿題				
5	ストレートスラッシュキルト説明実習仕上げ				
6	残りは宿題		3		
7	刺繍基礎縫い説明生地に図案の写し実習				
8	刺繍刺し方説明実習		12		
9	リボン・ビーズ刺繍下書き実習				
10	リボン刺繍説明実習				
11	ビーズ刺繍説明実習		4		
12	四つたたみ・スマッキング		1		
13	ポートフォリオまとめ		1		
14					
15					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パターンメイキングⅡ		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	90	3	戸澤 智也子
授業の目的・目標					
パターンメイキングに必要な基礎知識、技術習得。デザインをパターンに落とす力がつく。工業用パターン、グレーディングの基本が理解できる。					
授業の概要					
1年次に学んだ知識と技術を応用発展させ、縫製工程を理解した上で工業用パターン作成技術を身につけ、パターン検定3級合格に繋げる。					
成績評価の方法					
課題評価、授業態度、出席率を総合して評価。				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
パターンメイキング技術検定3級過去問題、パターン塾（ジャケット編・パンツ編）、プリント配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	ジャケット原型		4		
2	ジャケット身頃（面構成）		4		
3	二枚袖の書き方		4		
4	ラグラン袖の書き方		4		
5	衿（テーラードについて）		4		
6	衿（ショールカラーについて）		4		
7	グレーディングとは		2		
8	グレーディング（身頃）		4		
9	グレーディング（袖・衿）		4		
10	シャツカラーの書き方		2		
11	スタンドカラーの書き方		2		
12	フラットカラーの書き方		2		
13	3級PM検定実技試験対策（出題課題練習）		26		
14	3級 PM検定模擬試験		16		
15	3級 PM検定理論試験対策		8		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			パターンメイキングⅠ、ソーイングⅡ		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ドレーピングⅡ		講義・ <b>演習</b>		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	60	2	戸澤 智也子
授業の目的・目標					
ドレーピングでアイテムを組み立てられる技術、能力が身につく。製図を立体で行えるようになる。パターンメイキング検定3級合格。					
授業の概要					
平面では表現しにくいデザインをドレーピングによってパターン製作ができるようになることで、平面と立体の2方面から製図ができるようになる。					
成績評価の方法					
課題評価、授業態度、出席率を総合して評価。				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
パターンメイキング技術検定2・3級ガイドブック、配布プリント、過去問題プリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1	地直し・線入れ復習		4		
2	身頃のピン組み立て		8		
3	衿の付け方 シャツカラー		4		
4	衿の付け方 スタンドカラー		4		
5	衿の付け方 セーラーカラー		4		
6	袖の付け方 セットインスリーブ		4		
7	PM検定出題ブラウス ピン組み立て		24		
8	ジャケットピン組み立て		4		
9	2枚袖ピン組み立て		4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ドレーピングⅠ		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アパレルCAD I		講義・ <b>演習</b>		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	戸澤 智也子
授業の目的・目標					
CADのパターンメイキングの操作。簡単なパターンの入力。					
授業の概要					
CADシステムの理解とアパレル業界での必要性を認識する。CADの操作の基礎を学ぶ。					
成績評価の方法					
課題評価、授業態度、出席率を総合して評価。				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
電卓、定規					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	アパレルCADとは		2		
2	初期画面の説明・基本操作方法		2		
3	練習問題1~20		4		
4	パーツ化と縫い代付け		4		
5	各自原型作成		6		
6	データの出力方法		2		
7	ラグラン袖の考え方・書き方		4		
8	コート原型作成		4		
9	ファイル拡張子・データ保存・管理方法		2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			CAD II		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションデザインⅡ		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	60	2	大谷 順
授業の目的・目標					
説得力のあるデザイン画を描く力が身に付く。就職活動で使える画力とセンスが養える。					
授業の概要					
4つのコンテストに応募して説得力のある資料作りを身につける。					
成績評価の方法					
課題評価と学習意欲による点数				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
資料プリント、ケント紙、彩色用具					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	YKKファスニングアワード		4		
2.	デザイン出し		4		
3.	チェック 完成		4		
4.	日暮里		4		
5.	デザイン出し		4		
6.	チェック		4		
7.	完成		4		
8.	千年大賞		4		
9.	デザイン出し		4		
10.	チェック		4		
11.	完成		4		
12.	装苑賞		4		
13.	デザイン出し		4		
14.	ポートフォリオ作成		4		
15.	ポートフォリオ完成		4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ファッションデザイン画Ⅰ、		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			デザインリサーチⅡ		

シラバス (授業概要)				年度	2026年度	
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
デザインリサーチⅡ		講義・ <b>演習</b>		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通期	必修	90	3	時田智弘 カルフォ香奈	
授業の目的・目標						
生地をどう使ったら無駄が無くなるのか、そしてそれをどうデザインに落とし込み作り上げるのかを考 えることができる。デザイン、パターン、縫製の3つのいずれのアプローチからデザインに挑戦するこ うができる。						
授業の概要						
サステナブルを意識した、無駄を極力出さないパターンであったり、裁断時に出た残布もデザインに取り 入れ、無駄のない生地利用を意識したデザイン+生地の二次加工（ペイント、染め、キルティング、 刺繍、硬化など）を考えたデザインをしてもらいます。実際に1体制作します。デザインコンセプトは 各自自由に決めてください。						
成績評価の方法						
コンセプトからデザインを生み出すまでのプロセス、最終デザインの面白さ、 完成度と出来栄を評価します。				課題	80%	
				学習意欲	20%	
使用テキスト・教材						
スケッチブック、残布（提供されたもの等は自由に使って良い。）1/2 ボディを使ったデザイン出し用 のトワルシーチング、2次加工用の資材は各自持ち出して使用。						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	自己紹介、授業説明、		4	16.	本番生地で縫製、加工	4
2.	コンセプト決め、リサーチ、		4	17.	↓	4
3.	↓		4	18.		4
4.	1/2ボディを使用したり手を動かす		4	19.		4
5.	↓		4	20.		4
6.			4	21.		4
7.			4	22.		4
8.	★デザインプレゼン、デザイン画提出		2	23.	最終プレゼン、	4
9.	デザイン確認、パターン制作		4	24.		
10.	↓		4	25.		
11.			4	26.		
12.	トワルチェック		4	27.		
13.	パターン、トワル修正		4	28.		
14.	↓		4	29.		
15.			4	30.		
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)				年度		2026年度	
				科目コード			
授業科目名				授業形態		学科・コース	
ファッショントレンドⅡ				講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通期	必修	30	1	菅 麻紀 相川 克彦		
授業の目的・目標							
パラダイムシフトの中におけるファッションの変化を理解しながら、新時代の業界人の役割を理解する。							
授業の概要							
世界のファッションビジネス&トレンドの重要なニュースを追いながら、業界の近未来を展望する。							
成績評価の方法							
課題提出および授業の出席率を総合的に評価					課題	60%	
					学習意欲	40%	
使用テキスト・教材							
ファッション週刊誌「WWDJAPAN」「WWDJAPAN Digital」(INFASパブリケーションズ)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. WWD JAPAN紙面よりトピック解説			2				
2. "			2				
3. "			2				
4. "			2				
5. "			2				
6. ブランド研究・解説			2				
7. "			2				
8. "			2				
9. "			2				
10. "			2				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デザインアプリケーションⅡ		講義・ <b>演習</b>		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	30	1	佐藤 功人
授業の目的・目標					
イラストレーターの基本的な動作を習得し、アパレルメーカーの様々なシーンで必要となるファッションデザイン画、特に企画や展示会などの資料作成に欠かせないハンガーイラストを理解しIllustratorのソフトを使って描けるようになる。					
授業の概要					
ハンガーイラスト画について、使用目的、役割を具体的な作品、資料を紹介しながら概要を説明していく。また、服の構造や名称、細部のディティールの理解を深めながらハンガーイラストの表現方法を学ぶ。					
成績評価の方法					
課題提出				課題	60%
学習意欲				平常点	40%
使用テキスト・教材					
パソコン、配布資料、Illustrator教科書、					
授業内容・授業計画					
服の構造を理解しながら描き方を習得・何が大事かを考察し実践する。					時間数
1	ハンガーイラストの概要説明、業界での役割と習得目的・オリエンテーション・各自自己紹介				2
2	Illustratorのアンカーポイントとパスとは何か？基本を覚える。				2
3	Tシャツ：ベーシックTシャツの実践。（実物のパターンとハンガーイラスト表現の違い）				4
4	Tシャツ：前後のハンガーイラストを完成させる。				4
5	柄を作ってみる（パターンメッシュ登録まで出来るようになる）				4
6	ロゴを作ってみる（アウトライン化）配色				4
7	オリジナル無地T・柄物T・ロゴTの実習				4
8	細かな表現について講義・ファスナー表現やポケットなどの表現の仕方				4
9	オリジナルスタイル画+ハンガーイラストの実習➡最終提出（課題）				2
10					
12					
13					
14					
15					
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。				BD企画	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
マーケティング		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	20	1	片山 留美
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションを自己表現としてではなく、ビジネスとして成立させるためのマーケティング思考を身につけることを目的とする。</li> <li>・マーケットの視点から顧客ニーズを理解し、デザインアイデアを「売れる価値」へと転換する考え方を学ぶ。</li> </ul>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Show&amp;Tell手法を取り入れ、コミュニケーション力を同時に養う</li> <li>・他科目（ファッションブランド研究・商品企画等）への導入科目として、ファッション業界に必要なベーシックスキルを知識xワークの組み合わせで実体験として身につける</li> </ul>					
成績評価の方法					
出席率・授業態度・参加意欲・課題を総合的に判断し評価する				平常点	30%
				課題	30%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
オリジナル教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1	マーケティング基礎		2		
2	BUSINESS STORY TELLINGの基礎		2		
3	顧客ストーリーを起点としたファッション企画の考え方		2		
4	マーケットリサーチ視点・調査		2		
5	市場構造を可視化と企画の位置づけ		2		
6	ポジショニング分析の企画への落とし込み		2		
7	顧客視点の価値に基づいた価格設定の考え方		2		
8	ファッション企画への構築方法		2		
9	最終プレゼンテーション		2		
10	講評・振り返り		2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		年度	2026年度		
		科目コード			
授業科目名		授業形態	学科・コース		
アパレル素材論Ⅱ		講義・ <b>演習</b>	ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	櫻井 愛美
<b>授業の目的・目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きなファッションの中でテキスタイルの役割を理解出来る。</li> <li>テキスタイルの基礎を理解し、服を作る前段階の素材からデザイン出来る。</li> <li>リサーチからオリジナルのテキスタイルデザインを展開する事が出来る。</li> </ul>					
<b>授業の概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント、ニット、織り、染めなどのテキスタイルの基本の技法を理解する。(座学)</li> <li>シルクスクリーンプリントを体験し、基本のオリジナルプリントの作り方を学ぶ。</li> <li>基礎的なリポートプリントの作り方を理解する。</li> <li>リサーチから展開したオリジナルテキスタイルのデザインを制作する。</li> <li>オリジナルのテキスタイルデザインをデザイン画に落とし込む。</li> </ul>					
<b>成績評価の方法</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題提出 (プリントデザインの完成度、スケッチブックの内容)</li> <li>学習意欲</li> </ul>			課題	70%	
			学習意欲	30%	
<b>使用テキスト・教材</b>					
配布資料、スケッチブック、絵具ほか画材					
<b>授業内容・授業計画</b>					
			時間数		時間数
1	授業ガイダンス		2		
2	テキスタイルデザインの基礎理解		2		
3	シルクスクリーンプリント体験		4		
4	リポートプリントの理解		8		
5	オリジナルテキスタイルデザイン制作		16		
6	デザイン画制作		4		
7	プレゼン、講評		4		
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
セルフプロデュース			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	10	1	川松 夕見子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の様々なシーンや仕事で活用できるプレゼンスキルとその考え方を理解する。</li> <li>・ 作品のコンセプトを明確にし、その魅力が相手に伝わるような伝え方を身につける。</li> <li>・ 聞き手が共感/納得できるストーリーを組み立て、スライドやサンプルなどのヴィジュアルに落とし込んで表現できるようにする。</li> </ul>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「デザインリサーチⅡ」の授業成果作品を題材に、その狙いやポイントを聞く人にわかりやすく効果的に伝えられるプレゼン手法を学習する。</li> <li>・ 目標設定から情報整理、シナリオ構成、表現ツール、発表までのプレゼン要素を実践しながら学ぶ。</li> </ul>					
成績評価の方法					
プレゼンテーションの内容と発表				課題	50%
				平常点	20%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
スライドデータ					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1 授業概要			2		
プレゼンテーションの定義と基本要素					
ウォーミングアップ演習					
2 個人作品のプレゼンツール作成			2		
(ストーリー構成と情報整理)					
3 個人作品のプレゼンツール作成			4		
(コンテンツの見せ方・伝え方)					
4 個人作品のプレゼンツールまとめ、			8		
台本作成と話し方					
5 個人作品のプレゼンテーション (全員発表)			16		
講評					
6 就職活動用の資料作成と			4		
プレゼンテーション演習					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			アパレル企画、ソーイングⅡ、デザイン研究		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度		
				2026年度		
				科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ブランドプロデュース I			講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通期	必修	60	2	菅 麻紀	
授業の目的・目標						
<p>マーケットやトレンドを背景にした顧客視点を取り入れ、ブランドを立ち上げる方法を学ぶ。また市場ニーズを踏まえたオリジナルデザインについて探求し具現化する。ほかチームにおける動き方を理解し、自身の役割と責任感や判断力を磨く。</p>						
授業の概要						
<p>オリジナル商品を企画デザインする上で、基本的な考え方やアプローチ方法を学ぶ。リサーチをベースにしたブランドの構成を組み立て企画書を作成、デザインに展開していく。</p>						
成績評価の方法						
課題提出、学習意欲				提出課題	80%	
				学習意欲	20%	
使用テキスト・教材						
パソコン						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリジナルブランドとは			4	5. オリジナルデザインとは		2
・チーム編成				6. デザインリサーチ		
2. リサーチ			8	・トレンドとマーケット		2
・トレンドとマーケット				7. シーズンテーマ		
3. ブランド企画			10	8. デザイン		10
・ムードボード、コンセプト				・アイディア		
・ターゲット				・テキスタイル、カラーリング		
・ブランド構成				9. テキスタイルデザイン		
4. 企画書仕上げ			8	ハンガーイラスト		8
				10. デザイン仕上げ		
			プレゼンテーション			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。			オリジナルブランドパターン・生産管理			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
接客技術		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	90	3	中本 悦司
授業の目的・目標					
<p>これまで学んだ服飾造形基礎を、デザインに合わせて応用展開し、発展する力が身につく。パターンとトワルを作成しながらシルエットやディテール、テキスタイルの見直しをしてより良い作品にしていくための柔軟性を養う。チームでのプロジェクト推進力やチームワーク力、判断力を養う。</p>					
授業の概要					
<p>BD企画デザインからのつながりで、パターンを制作していく。ディテールや生地などの研究も平行させながら、ファーストパターンからトワルを制作し、修正、セカンドパターン、トワルの制作を繰り返し、商品につながるパターンを仕上げていく。ハンガーイラスト、生地サンプル、縫製ディテールなどの指示書を作成する。</p>					
成績評価の方法					
課題提出 (パターンの完成度)				課題	60%
学習意欲 (チームワークのあり方、授業に取り組む姿勢)				平常点	40%
使用テキスト・教材					
原型パターン (メンズ・レディース)、配布資料、文化ファッション大系 全テキスト					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 授業説明、デザイン・生地確認			4		
2. ファーストパターン・トワル作成、チェック			46		
3. セカンドパターン・トワル作成、チェック			28		
4. 最終・裏地・芯地パターン作成			4		
5. 各工程まとめ、要尺			4		
6. ハンガーイラスト直し・指示書作成			4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			オリジナルブランド企画デザイン、サンプル		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
スタイリング		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	中本 悦司
授業の目的・目標					
工業用パターン・縫製仕様書・縫製依頼書を作り、工場投入を経験する。専門職の知識と技術を高め、業界入社に備える。					
授業の概要					
専門職の職務を部分的に実践する。サンプル製作（外注）の基本的な内容や流れの理解を深める。					
成績評価の方法					
1 課題（提出率と提出された課題の完成度） 2 平常点（主体的な授業参加度） 3 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらを総合的に評価した上で決定する。				課題	50%
				平常点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系テキスト、誌上パターン塾テキスト、配布プリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	概要説明		2		
2.	ファーストパターン、トワルチェック、修正		6		
3.	セカンドパターン、トワルチェック、修正		4		
4.	縫製仕様書について		2		
5.	縫製仕様書作成		4		
6.	工業用パターンについて		2		
7.	工業用パターン製作		6		
8.	書類作成、資材梱包、発送準備		2		
9.	納品、検品		2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			オリジナルブランド企画デザイン・パターンソーイング、パターンメイキング		

シラバス（授業概要）				年度		2026年度	
				科目コード			
授業科目名				授業形態		学科・コース	
アントレプレナー				講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通期	必修	60	2	菅 麻紀		
授業の目的・目標							
就職活動に必要な基礎知識と実践力を身に付け、主体的に進路選択ができる力を養う。自己理解を深め、応募書類作成や面接において適切な自己表現ができる。							
授業の概要							
就職活動に必要な知識と実践力を身に付けるため、自己分析、企業研究、応募書類作成、面接対策を中心に学ぶ。							
成績評価の方法							
授業態度・学習意欲を総合的に判断する。					平常点	60%	
					学習意欲	40%	
使用テキスト・教材							
配布プリント、PC							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 概要説明・目標チェックシート			2				
2. キャリア別行動目標について			2				
3. 企業研究			2				
4. //			2				
5. 業界説明会準備			2				
6. 業界説明会			2				
7. インターンシップ活用			2				
8. チェックシート確認			2				
9. キャリアステップについて			2				
10. キャリアマップ活用			2				
11. 校内模擬面接会準備			2				
12. 模擬体験ワーク			2				
13. 校内模擬面接会・フィードバック			2				
14. 校内企業ガイダンス準備			2				
15. 校内企業ガイダンス・振り返り			2				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）		年度	2026年度		
		科目コード			
授業科目名		授業形態	学科・コース		
ソーイングⅢ・ドレーピングⅢ パターンメイキング検定Ⅰ		講義・演習	ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	選択	120	4	戸村 寿恵子
授業の目的・目標					
仕様書を書く事で、縫製手順を知り、縫製方法、応用力が身に付く。					
授業の概要					
1年次に学んだ知識と技術を応用発展させ、縫製工程を理解した上で工業用パターン、工業用技術を身につけ、3年次へのパターン検定/ブランド/卒業制作等に繋げる。					
成績評価の方法					
作品の完成度、製作物・部分縫い（2種類）・ポートフォリオの提出、授業態度				課題	80%
				平常点	10%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系服飾造形基礎 ジャケット・ベストテキスト、洋裁道具一式、縫製工程プリント配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	シラバス説明・ディテール説明・リサーチ宿題	2	16	裏地縫い合わせ・表衿付け	2
2	ジャケットのデザインと作図説明		17	袖作り・いせ込み説明実習・袖付	8
3	黒板製図（ノッチドラペル・袖まで）	12	18	やま布・肩パット付け実習	4
4	黒板製図（ピークドラペル前身頃のみ）デザイン画宿題		19	衿の四つ止め・表・裏の合わせ衿の中綴じ	8
5	デザイン画チェック	2	20	裏地袖付け・脇の中綴じ・裾上がり止め	4
6	実物パターン作成・チェック	12	21	裾とじ・見返し裾千鳥がけ・ラベル星止め	4
7	仮縫い裁断・印付け・組立	10	22	仕上げアイロン・ボタンホール・ボタン付け	4
8	仮縫い完成・修正されたパターン完成	12	23	提出ノートまとめ宿題	
9	裏地のパターン製作・裁断	6			
10	ポケット部分縫い（フラップポケット）	8			
11	ポケット部分縫い（箱ポケット）				
12	表布裁断芯はり	10			
13	テープはり説明実習				
14	ダーツ切替ポケット作り	8			
15	肩・脇縫い・地衿付け	4			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ソーイングⅠ・Ⅱ		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アパレル企画		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	選択	60	2	菅 麻紀
<b>授業の目的・目標</b>					
マーケティング分析から商品企画、デザイン提案までの一連の流れを実践的に学ぶことを目的に、企業視点に基づいた企画立案力を養い、最終的に就職活動に活用可能なアパレル企画ポートフォリオを作成できる力の習得を目標とする。					
<b>授業の概要</b>					
本授業は実在するアパレル企業を題材として、マーケティング分析から商品企画、デザイン提案までを一貫して行う実践型授業である。					
<b>成績評価の方法</b>					
学習意欲と課題提出・最終ポートフォリオのクオリティ・プレゼン含めた提案力を評価する。				課題	60%
				学習意欲	20%
				プレゼン	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
パソコン、配布資料、Illustrator教科書、					
<b>授業内容・授業計画</b>					
			時間数		時間数
1.	シラバス説明、就活動向確認		4		
2.	企業分析・マーケティング		4		
3.	〃		4		
4.	〃		4		
5.	商品企画・MD		4		
6.	〃		4		
7.	〃		4		
8.	〃		4		
9.	〃		4		
10.	デザイン		4		
11.	〃		4		
12.	〃		4		
13.	ポートフォリオまとめ		4		
14.	〃		4		
15.	プレゼンテーション		4		
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パーソナルカラー検定 ビジネスプランニング		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	60	2	カルフォ香奈
授業の目的・目標					
3 DCGソフトウェアCLOの使用目的や基本操作を理解できる。 また、これからのファッション業界のいろんな場面で使用していただけるCLOの知識や技術を身につけて、プレゼンや企画で使用できるようになる。					
授業の概要					
CLOにできることや利点をふまえた上で、基本操作を学ぶ。 シャツや細かいディテール、プリーツスカートの制作を通して、制作フロー、パターン編集、生地表現、着せ付け、画像レンダリングができ、企画として提案する力が身につく。					
成績評価の方法					
出される復習課題の提出、最終作品のクオリティ、学習意欲、プレゼンテーションで評価します。				課題	60%
				学習意欲	20%
				プレゼン	20%
使用テキスト・教材					
パソコン、配布資料、CLO:Digital Modelism 教科書					
授業の概要					
			時間数		時間数
1.	シラバス説明、CLOインストール インターフェイス		4		
2.	基本操作、プリント柄の挿入、C3		4		
3.	シャツ制作：身頃の縫い合せ、C4		4		
4.	シャツカスタム：付属 +ダーツ、C5		4		
5.	スードからパターン作成、編集		4		
6.	プリーツSK:プリーツ、C6.2		4		
7.	スタイリング、統合: C6.3		4		
8.	キルトJK: 圧力、内部線		4		
9.	ミリタリーコート:パターン編集、C11.4		4		
10.	ミリタリーコート:ディテール、C11.11		4		
11.	作品制作1		4		
12.	作品制作2		4		
13.	作品制作3		4		
14.	アニメーション、プレゼン準備、		4		
15.	プレゼンテーション		4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアプランⅡ		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	太田 稔子
授業の目的・目標					
①社会人としてのコミュニケーション能力の向上②就職に必要な書類作成のノウハウと、自己分析から自己PR等のネタ・エピソードを探す③就職に関する疑問点や不安を解消する④ペアワーク・グループワークで社会人意識を学び、実践練習で自信をつける					
授業の概要					
就職活動に必要な応募書類作成の基本と、自己分析から自分のネタやエピソードを見つける。現況の面接対策ノウハウを知り、今後の就職活動に備え、卒業後のキャリアプランを個々に考える。アクティブラーニングを主とする授業内容で個人面接や集団面接の実践力を養う。グループワークを通し社会人意識を自然に身につけ、社会に出る準備をする。					
成績評価の方法					
授業態度・学習意欲を総合的に判断する。				平常点	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
独自に作成したワークシート及び就職に対するマナー等資料					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	授業の目的と評価	ビジネスマナーの必要性 「働く」とは	2		
2	企業の求める人材	ビジネスマナー基礎 動作確認（お辞儀等）	2		
3	敬語基本（丁寧語・尊敬語・謙譲語）	改まり語 肯定表現 クッション言葉	2		
4	就職状況確認	顕在求人と潜在求人 就活の流れと情報取	2		
5	エントリーシートと履歴書の違い	求人票の見方 他応募書類	2		
6	履歴書の書き方基本	NGの志望動機 自己PR事例 アイデア出し	2		
7	自己分析の重要性	エゴグラム分析 自分のネタを増やすコツ	2		
8	面接の種類と評価ポイント	面接によく出る質問と対策	2		
9	キクワーク（聴く・聞く・訊く）	伝えるワーク（1対1）	2		
10	1対1面接ロープレ	役割分担と評価シート作成	2		
11	プレゼンテーション（自己PR）	四分割にして伝える	2		
12	グループ面接に備える	ブレインストーミング 価値交流ワーク	2		
13	コンセンサスゲーム	グループ面接の評価ポイント	2		
14	ツールを使った発表	見せ方の工夫 評価ポイント	2		
15	社会人意識	ケーススタディ 授業まとめとエール	2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					